

仙台市青葉区宮城東地区民生委員児童委員協議会

(平成 27 年 9 月)

1. 宮城東地区について

当宮城東地区は、青葉区（301 平方キロメートル）内の広瀬川をはさむ北西部から南西部に位置しており、広大な面積を有し、平地、山間部、丘陵地帯などが連なる自然豊かな地域です（仙台市天文台も当地域にあります）。

近年、大規模な宅地開発など、区画整理が行なわれ、戸建て住宅が多く建ち、若年層の人口が急増しています。本年には、錦ヶ丘小学校（児童数 960 名）が新設されました。

地区内には、6 つの連合町内会（45 町内会）、小学校 7 校、中学校 3 校があります。

この地域を担当する宮城東地区民児協は、民生委員 39 名、主任児童委員 2 名の計 41 名の委員で構成されています。

毎月の定例会は 10 日前後に青葉区宮城総合支所会議室にて開催していますが、大所帯（行政、社協からの出席も得て総勢 45 名程度）のため会議室の確保が難しくなっている状況にあり、来年（平成 28 年）12 月 1 日付けで民児協を分割する予定としています。

※分割後の名称 宮城東地区民児協、吉成地区民児協（仮称）

2. 地域の被災状況

仙台市では、東日本大震災において、沿岸部では津波により壊滅的な被害を受け、また内陸部においても地割れや住宅の崩壊など甚大な被害を受けた地域がありました。

宮城東地区は、地盤が固いといわれる地域で、他の地域に比べれば全体として被害が少なかったといえる地域です。被害内容としては、家屋の半壊、主に屋根瓦（陶器和瓦）、棟瓦破損、内装壁破損等です。

発災時、各委員は、自主的に担当区域内における安否確認、見守り等の支援活動を行ないました。

3. 今後の活動、復興公営住宅への支援

復興が進むなか、当宮城東地区内にも復興公営住宅が 2 か所に建設されました。

○上原復興公営住宅 青葉区愛子中央三丁目地区（27 戸） 平成 26 年 4 月入居開始

○落合復興公営住宅 青葉区落合四丁目地内（108 戸） 平成 27 年 7 月入居開始

今後は、仙台市社協宮城支部、行政（宮城総合支所）、あやし地域包括支援センター、町内会、地区社協、そして民生委員・児童委員が情報を共有しながら、連携・協働し、地域での見守り支援やサロン開催等の活動を行なっていきたいと考えています。